

2024年11月7日
企業会計基準委員会
サステナビリティ基準委員会
オーストラリア会計基準審議会

企業会計基準委員会及びサステナビリティ基準委員会の委員長と オーストラリア会計基準審議会の議長による共同会議をシドニーで開催

企業会計基準委員会（ASBJ）委員長兼サステナビリティ基準委員会（SSBJ）委員長とオーストラリア会計基準審議会（AASB）議長は、2024年11月7日に、オーストラリアのシドニーで会合を開催しました。

今回の会合では、双方がそれぞれの活動の状況を説明するとともに、協力の機会について意見交換を行いました。また、会計基準に関して、国際会計基準審議会（IASB）の公開草案「財務諸表における気候関連及びその他の不確実性」を含む両者が関心のある技術的なテーマについて議論を行いました。

ASBJ 及び SSBJ と AASB は、今後も意見交換を継続し、可能な限り協働していく予定です。

川西 安喜 ASBJ 委員長兼 SSBJ 委員長は、次のように述べています。
「シドニーでの今回の会合を主催いただいた AASB に感謝の意を述べたいと思います。今回の会合で、我々はオーストラリアにおける会計基準及びサステナビリティ開示基準に関する活動について理解を深めることができ、また、共同研究の機会について議論することができました。AASB とのこの実りある対話を継続していくことを期待しています。」

AASB 議長のキース・ケンドル博士は、次のように述べています。
「ASBJ 及び SSBJ が引き続き AASB と関与し、協力してくださっていることに感謝申し上げます。ASBJ 及び SSBJ は、国際的な会計基準及びサステナビリティ開示基準のコミュニティに積極的に参加しており、我々は ASBJ 及び SSBJ の見解を伺うことを重んじています。ASBJ 及び SSBJ の進行中のプロジェクトについてより多くを理解することができたとともに、進行中の一組のグローバルな基準の開発において我々がいかに継続的に協力することができるかを知ることができたのは興味深かったです。」

企業会計基準委員会（ASBJ）について

企業会計基準委員会（ASBJ）は、2001年7月に公益財団法人財務会計基準機構（FASF）の下に設立されたプライベート・セクターの機関です。ASBJが開発した会計基準は、金融庁により日本において一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなります。ASBJは、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発しています。ASBJは、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献しています。ASBJに関する詳細な情報は、ウェブサイト (<https://www.asb-j.jp/jp/>) をご参照ください。

サステナビリティ基準委員会（SSBJ）について

サステナビリティ基準委員会（SSBJ）は、2022年7月にFASFの下に設立されたプライベート・セクターの機関です。サステナビリティ開示基準の法的枠組みは金融庁が決定することとなっており、SSBJはその枠組みが設定された後に、その枠組みに沿って国内基準を開発することとなります。SSBJは、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）の法域別ワーキング・グループ（JWG）のメンバーであり、サステナビリティ基準アドバイザリー・フォーラム（SSAF）の初期メンバーの1つに選任されています。SSBJに関する詳細な情報は、ウェブサイト (<https://www.ssb-j.jp/jp/>) をご参照ください。

オーストラリア会計基準審議会（AASB）について

AASBは、会計及びサステナビリティの報告基準を作成するために、2001年オーストラリア証券・投資委員会法の下で設立されたオーストラリア政府の機関です。AASBのビジョンは、資本市場を含むオーストラリア経済と、外部報告に対する関係者の信頼に貢献することです。

AASBは、企業の財務又はサステナビリティに関する情報を理解するために不可欠である財務報告及びその他の外部報告を法律上又はその他の義務により作成する対象となるオーストラリアの企業に適用される会計基準、サステナビリティ基準及び関連する報告上の要求事項を策定する権限を有しています。

AASBはオーストラリア国内の会計基準サステナビリティ基準の設定だけではなく、国際的な単一の会計基準及びサステナビリティ基準の開発にも積極的に貢献しています。

AASBに関する詳細な情報は、ホームページ (<http://www.aasb.gov.au/>) をご参照ください。